



ALESKO

レタンPG2K

KANSAI PAINT CO.,LTD.

●製品の特長

- [1] 吹きムラ、戻りムラが出にくい。
- [2] 塗装条件によるムラのバラツキが少ない。
(塗装経験の浅い人でも簡単に塗れる)
- [3] 2トーンカラーでのテープ可能時間が驚くほど早い。
- [4] 調色時の正面、スカシの色調整が容易にできる。
- [5] 優美な鏡面肌が得られる。
- [6] 密着性、再補修性に優れる。
(1液ベースコートタイプに比べて安心して作業できる)

塗 装 作 業 性		
項 目	PG2K	PG80
メタリック吹きムラ	◎	○
メタリック戻りムラ	◎	○
ボカシ易さ	◎	○
とまり	◎	○
磨き易さ	◎	◎
乾燥性(シマリ)	○	◎
テープ跡	◎	○



仕 上 り		
項 目	PG2K	PG80
調色性 (メタリック方向性)	◎	○
塗りツヤ	◎	○
塗り肌	◎	○
磨きツヤ	◎	◎
肉持ち	◎	◎
再補修性(チヂミ)	◎	◎

塗 膜 性 能		
項 目	PG2K	PG80
付着性	◎	◎
物理性	◎	◎
耐水性	◎	◎
耐ガソリン性	◎	◎
ツヤ退け	◎	◎
ツヤ持ち	◎	◎
ワレ	◎	◎
ヤケ	◎	◎

- PG2K → クリヤーA
- PG80 → SUクリヤー

クリヤーの性能比較

項 目	タイプ	A	M	Q	EX
戻りムラ		○	○	○	○
ボカシ性		◎	○	○	○
肉持ち		◎	○	○	◎
塗り肌		◎	○	○	○
磨き性		○	◎	○	◎
磨きツヤ		◎	◎	◎	◎
塗りツヤ		◎	○	○	◎
耐候性		◎	◎	◎	◎

クリヤーA

高級車の補修に適した平滑な塗り肌と、ツヤが得られます。

クリヤーM

短時間の強制乾燥で、しかも磨き性が良い。

クリヤーQ

常温でも乾燥するタイプで、作業性が良い。

クリヤーEX

短時間の強制乾燥で、肉持ち感と塗りツヤに優れる。

●使用方法

①ベース、硬化剤、シンナーの配合量

分類	区分	ベース	2K硬化剤	2Kシンナー
カラーベース		100	20	120～130 (60～80)
クリアー	A	100	50	30～40
	M			20～30
	Q			40～50
	EX			10～30

●注意事項

- ①()は3コート用カラーベース。
- ②硬化剤は正確に計量し、十分攪拌してください。
- ③使用後はただちに密閉し、冷暗所に保管してください。

②希釈塗料の可使時間

液温10℃:8時間以内
液温20℃:6時間以内
液温30℃:4時間以内

●注意事項

硬化剤を混入した塗料は可使時間内に使い切ってください。
ゲル化や増粘していない状態でもすでに局所的な反応が進んでいますので塗膜欠陥の原因となります。
尚、原色によっては上記より若干短いものもあります。

③乾燥

1) カラーベース

項目	温度	20℃
指触乾燥		5分
中研ぎ可能		15分
テープ可能		15分

※シンナーは標準形を使用の場合

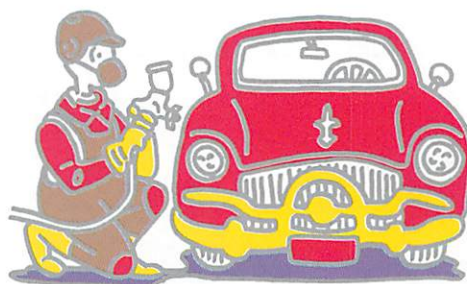
2) クリアー

タイプ 項目	A				M				Q			
	10℃	20℃	30℃	60℃	10℃	20℃	30℃	60℃	10℃	20℃	30℃	60℃
指触乾燥	15分	10分	5分	—	10分	5分	3分	—	10分	5分	3分	—
中研ぎ可能	—	—	—	20分	—	—	—	10分	20分	15分	10分	7分
コンパウンド 磨き可能	不可	不可	不可	40分	不可	不可	不可	20分	6時間	4時間	3時間	20分
屋外放置可能	不可	不可	不可	40分後 常温16時間	不可	不可	不可	20分後 常温16時間	32時間	16時間	8時間	40分
ガソリンOK	不可	不可	不可	40分後 常温32時間	不可	不可	不可	40分後 常温32時間	72時間	32時間	24時間	40分後 常温16時間
完全硬化	—	—	—	120分	—	—	—	100分	—	7日	—	60分

タイプ 項目	EX			
	10℃	20℃	30℃	60℃
指触乾燥	12分	7分	5分	—
中研ぎ可能	—	—	—	10分
コンパウンド 磨き可能	不可	不可	不可	20分
屋外放置可能	不可	不可	不可	20分後 常温16時間
ガソリンOK	不可	不可	不可	40分後 常温32時間
完全硬化	—	—	—	100分

注)

- ①膜厚はカラーベース30～40μm、クリアー50～60μm。
- ②諸条件で乾燥は変わります。上記はあくまで参考値です。



④希釈シンナー・硬化剤の選び方

1) カラーベース

区分	塗装面積	タイプ	適用範囲(℃)〈気温及び塗料温度〉							
			5	10	15	20	25	30	35	40
シンナー	ドア以下	超遅乾形							30	40
		遅乾形						25	35	
		標準形			15	20	25	30		
		速乾形	5	10	15	20				
	ボンネット以上	超遅乾形							30	40
		遅乾形						25	30	
		標準形			15	20	25	30		
		速乾形	5	10	15	20				
硬化剤	—	標準形							30	40

2) 各種クリアー

区分	塗装面積	タイプ	適用範囲(℃)〈気温及び塗料温度〉							
			5	10	15	20	25	30	35	40
シンナー	ドア以下	超遅乾形							30	40
		遅乾形						25	35	
		標準形			15	20	25	30		
		速乾形	5	10	15	20				
	ボンネット以上	超遅乾形							30	40
		遅乾形						25	35	
		標準形			15	20	25	30		
		速乾形	5	10	15	20				
硬化剤	—	遅乾形						25	35	
		標準形			15	20	25	30		
		速乾形	5	10	15	20				

注) A ———
M, Q ———
EX ———

風速や形状など諸条件で変わります。上記を参考にしてください。

- 尚、シンナーには速乾形より更に速い、超速乾形と、超遅乾形より更に遅い、超々遅乾形があります。
- クリアーEXベースには遅乾形硬化剤をご使用にならないでください。

- 塗料が低温で保管されている場合は、調合作業開始前に塗料を2時間程度5℃以上の場所に放置するなど、塗装作業に適した温度に調温し、よく攪拌して御使用ください。

